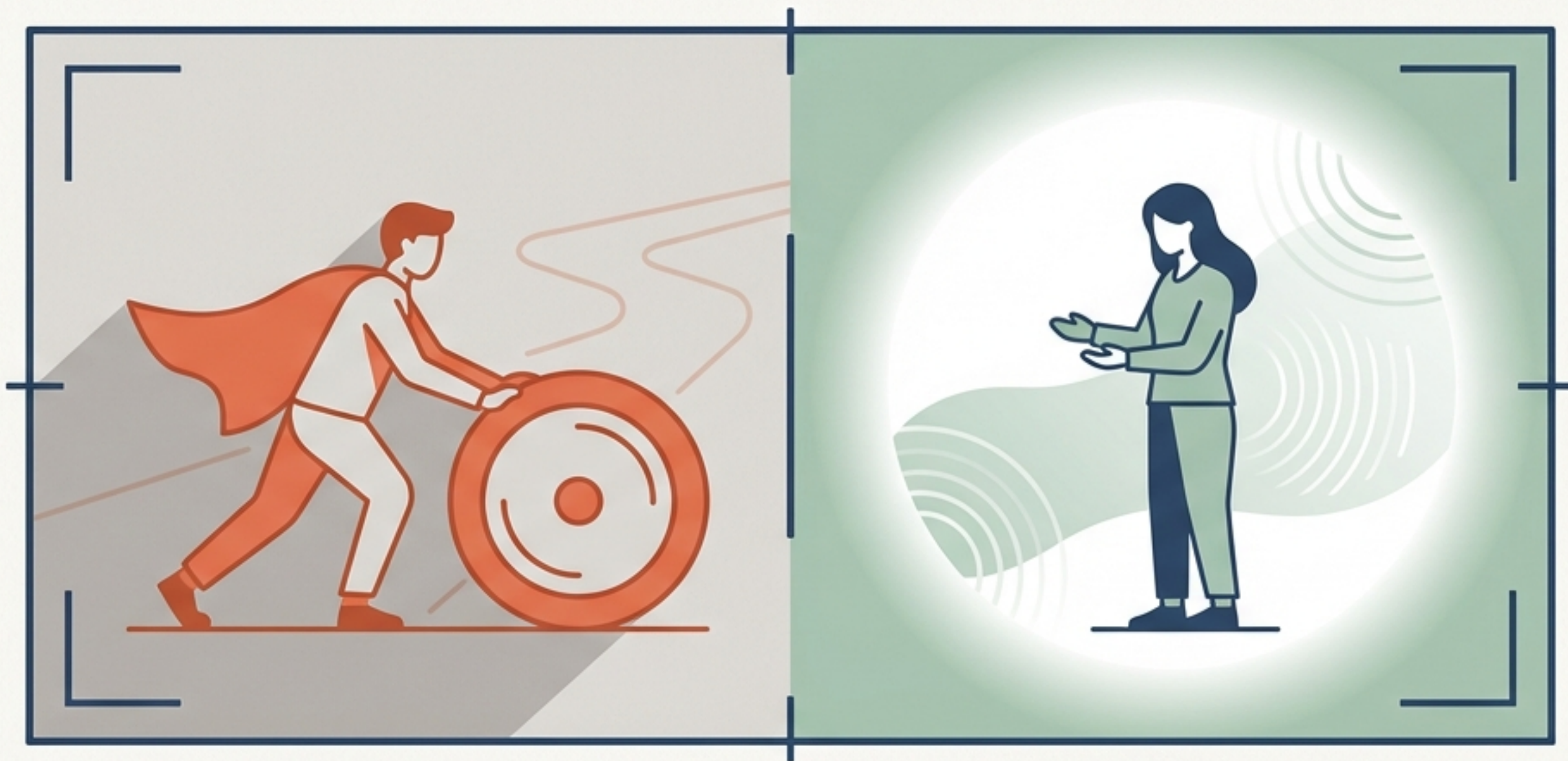


日本語の「受身（うけみ）」完全ガイド

視点を変えれば、日本語がもっと自然になる。



「動作主」

動作の源。行為者。

「受動者」

動作の影響を受ける者。焦点が当たる。



日本語は「私」が主役の言語



能動文 (Active) :
先生が私をしかったです。 (事実中心)



受身文 (Passive) :
私は先生にしかったです。 (私の気持ち)

「誰がしたか」ではなく、「誰が受けたか」にスポットライトを当てたいときに使います。

受身動詞の作り方



Group 1

i → a + れます

ききます → きかれます

注意: いいます → い**わ**れます



Group 2

ます → られます

たべます → たべられます

ほめます → ほめられます



Group 3

します → されます

します → されます

来(き)ます → 来(こ)られます

練習してみよう

Before (Active)

After (Passive)

1. 書く



書かれる

2. 呼ぶ



呼ばれる

3. 見る



見られる

4. 待つ



待たれる

5. 来る



来（こ）られる

パターン1：直接受身



[私] **は** は [人] **に** [**動詞**]られます。

先生は私を褒(ほ)めました。



私は先生に褒められました。

「を」が「は」に、「は」が「に」に変わります。

パターン2：持ち主の受身

「私のもの」が何かされたとき



(×) 私の足は踏まれました。

(○) 私は（誰かに）足を踏まれました。



英語では My foot was stepped on ですが、日本語では「私」が被害者です。「足を踏まれた！」という感覚です。

迷惑（めいわく）の受身

相手が私に触れていなくても、私が「困った」「嫌だ」と感じたときに使います。



雨が降りました → (私は) 雨に降られました。

子供が泣きました → (私は) 子供に泣かれました。

自動詞 (Intransitive verbs) も受身にできます！

パターン3：公共・事実の受身

「誰がしたか」が重要ではないとき



〔物 / 事〕が〔動詞〕られます。

オリンピックは2021年に開かれました。

この本は多くの人に読まれています。

ニュースや歴史の話では、
感情を入れずに事実だけを伝えます。

「に」「から」「によって」の使い分け

に



基本の形

先生に褒められた。

から



物が届くとき

学校から連絡が送られた。

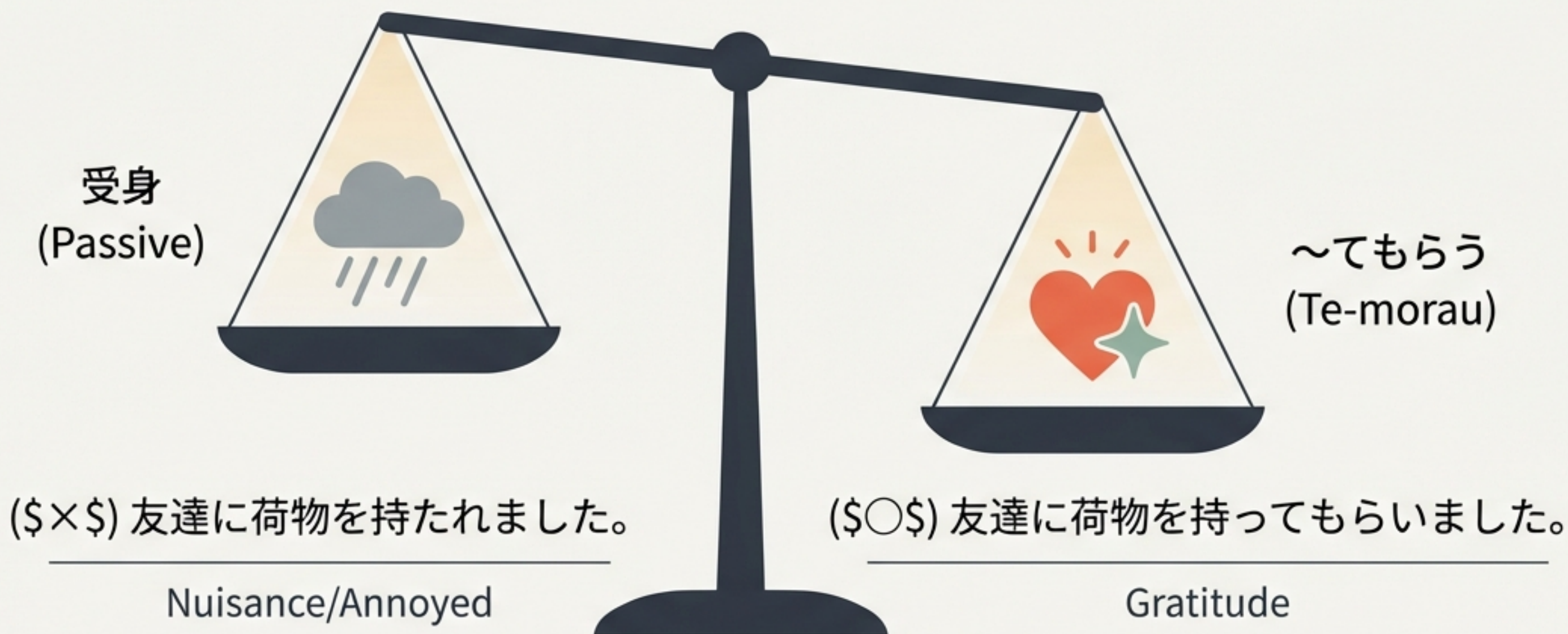
によって



創作者・発明者

この本は夏目漱石によって
書かれた。

【重要】「ありがとう」の時は受身を使わない！



うれしい時は「～てもらau」を使いましょう。

今日のまとめ



直接受身 (Direct)

私は先生に褒められた。



迷惑の受身 (Nuisance)

私は足を踏まれた／
雨に降られた。



公共の受身 (Public)

オリンピックが開かれ
た。



注意 (Caution)

感謝する時は
「～てもらう」！

視点を変えて、会話の主役になろう！



受身を使えば、あなたの気持ちや状況をもっと深く伝えることができます。
恐れずに使ってみてください！